

鵜住居地区まちづくり協議会 議事要旨 ②鵜住居上、鵜住居仲、川原

記

- 日時 平成 27 年 3 月 29 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分
- 場所 長内集会所
- 次第
 1. 挨拶
 2. 工事進捗状況及びスケジュールについて
 3. 宅地整備基準（案）について
 4. 現長内橋・歩道橋の取扱い
 5. JR 東日本との協議箇所について
 6. 復興公営住宅について
 7. 学校設計の状況について
 8. 駅前施設整備について
 9. ラグビーワールドカップ 2019 開催に向けた釜石市の取り組み状況
 10. にこにこバスについて
 11. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について
 12. 意見交換会

宅地の引渡し予定が出ているが、まちに建物がまだ残っている。今後どう取り組んでいくのか。あとは山手の排水、農業用水、防火用水の造りは、使っている人たちは分かっているのか。高さが違うところでどういう工法で排水するのか。両石の国道 45 号から根浜箱崎道路への工事の進捗状況はどうなっているのか。

- 整備をする範囲のところに建物が残っている箇所は、移転補償をする方と、建っていても工事に支障のない方に分かれています。事業者の方は仮設店舗に移ってもらい、事業を進めていきます。農業用水と排水に関しては分離します。農業用水については、現状残っていて活用できる箇所は活用して、宅地の利用を極力害さないようにルートを変えながら整備していきます。学校の所は高盛土するので、法際を這わせる形で、駅を超えて東側の田んぼまで引っ張っていきます。田んぼについては集約させていただきます。防火用水については、消火栓を一定の距離ごとに整備し、地区内の井戸も活用できるか検討しています。
- 道路は大型バスも入っていける道を区画整理事業の中で行っています。地区の図面では明記されていませんが、平成 28 年度までの完成を目指して進めています。

土地の提供を頂くのが大事なのでご協力お願いします。

宅地引渡し予定の一部調整中とはどういう意味か。時期には影響ないのか。

- 市の計画だけでは進められず、地権者の方の了承や、他事業との調整があり、同時に進めているので想定している期間よりずれ込むことがあります。場所は図に示している部分ですが、工程は平成28年3月としたところから6ヶ月遅れます。皆様への引渡しは平成28年9月までずれ込みます。

調整とは具体的にどういうことか。

- 迂回するための仮設道路を計画していたが、道路上にある建物の地権者との調整で遅れてしまいました。
- 陸前高田のように、全部工事区域にしてから工事を行えばよいが、道路を切り替えて、利用しながら行っているのがこのようなことが起きてしまいました。

JRで嵩上げ予定はあるのか。

- 今、聞いている中ではありません。

地元の意見交換会を大事にしてほしい。

ラグビーワールドカップ開催までに復旧・復興、駅前の整備ができるのか。津波伝承施設は初めて聞いたが、交流センターは鶴住居の活性化に繋がると思う。釜石は高速道路から下りて休憩するという視点もある。鶴住居駅前には観光バスの休憩で呼び込むという案もあるのでは。トイレがきれいじゃなければ観光バスは寄らないと聞いているので、気持ちのいいトイレの整備をしたほうがよいと思う。

- 貴重なご意見ということで今後の参考にさせていただきます。
- トイレは200㎡前後で、24時間対応が望ましいと考え、地域交流拠点の中に造るか別棟にするかを検討しています。管理運営は指定管理なのか地域の皆さんにご協力いただくのかをこれからの協議の中で決定していきたいと思います。
- JR山田線の件はやっとJR東日本と岩手県で協定が結ばれ、JR東日本から三陸鉄道に移管が決定し、三陸鉄道が一体的な運営をすることで話がまとまりました。工事がどこから着工するかは決まっていません。鶴住居は現在誰も住んでいないので、三陸鉄道にとっても利益が上がる仕組みを考えた上で検討していきます。ラグビーは課題が様々ありますが、県や国も協力を提言してくれています。ワールドカップを開催することが皆さんの負担にならないよう、スケジュール管理をきっちりして工事を進めていきます。甲子のほうに産直を造る理由は、無料の高速道路にはパーキングエリアがないので、インターチェンジで下りてトイレに行くこととなります。そのため、側に産直や道の駅が必要となります。釜石にとっ

ていい方向になるよう進めていきたいと思います。(市長)

今月 11 日の追悼式に参列して、岩手県代表として復興大臣と懇談した。大臣は直接関係ないが、ワールドカップの件が復興の足かせにならないよう十分考えてくださいという話をした。

業者がたくさん入っているが、住むところもないのでは。仮設が空いてきているが、それを活用できないのか。

- 工事関係者は補助金の中でお金をもらっているのに、仮設に住むと 2 重にお金をもらう形になりかねないので、現段階では認められません。集約の関係もあるので、使わなくなった仮設は取り壊すのが基本的な方針です。
- 仮設住宅は空いているから誰でも入っていいということにはなりません。有効活用することは検討していかなければならないと思います。
- 工事の作業員の宿舎は苦労していますが、なんとか確保しています。お気遣いありがとうございます。

復興にあたって鶴住居のまちを賑わせるために、前はできないと言っていたが、状況が変わったようなので、ショッピングモールみたいなものができるのか。

- 今日は担当が来ていませんが、商業の再生については、地域の事業者の皆さんと再建について協議していると聞いています。国道 45 号線沿線にある程度集約できないか、銀行、スーパー、クリニックなどが戻って来られないかなど、再建に向けて一生懸命やっています。

一生懸命やっていると言ったが、こちらから持ち掛けないとやっていない。色々話をしていると言っていたが、そんな情報は聞こえてこない。東部の状況に比べると万分の一も検討していない。モールみたいなものは、大きい土地を持っている人の協力を得てやろうという話はあるが、行政が動いてくれないとできない。市長も来ているのでどう思っているのか聞きたい。(まち協)

東部のほうばかり進んでいると言われたが、鶴住居を忘れていたわけではありません。鶴住居はワールドカップなど大きな事業があります。駅前の再建の形を決めないと前に進めないと思います。メモリアルパークも皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

今、スケジュールが遅れているのは全部、地権者との交渉です。これを言うと怒られるかもしれませんが、次に遅れが出るとすれば工事的な問題ですが、施工業者を交え、課題を検討しました。遅れそうな時はきちんと説明しますし、そうならないよう全力を尽くしますので、ご理解ください。次回は駅前施設の話ができるようにしたいと思います。(市長)